



広報 えひな

編集・発行
海老名市役所秘書広報課
〒243-04
神奈川県海老名市勝瀬175
☎ (0462) 31-2111

この広報は再生紙を使用しています。

札

「なぎなた」……国民体育大会の1つの種目で、その爱好者は、全国で約6万7千人。昭和58年の群馬国体から正式種目として今年で15年を迎える新しい種目ですが、その歴史は古く、平安時代の末期の12世紀の半ばごろから、その機能性が太刀よりも離れた相手に向かうときに有利であるところから、それが「試合協議」と「演武競技」の総合で競われます。

10~25歳、重さ50kg以上と決められ、試合前日に厳しく計量され使用が許されます。

試合は、12辺四方のコートで行われ、定められた「部位」、面部(ズン)・小手部(コテ)・胸部(ドウ)・咽喉部(ツキ)・のど)・脛部(スネ)のところを、先端部の物打(ものうち)と呼ばれる、およそ15~20gの

「柄(え)」を長くして工夫改良されてきたと言われています。

国体のなぎなた競技は、少年女子の部と成年女子の部があり、それぞれ「試合協議」と「演武競技」の総合で競われます。

10~25歳、重さ50kg以上と決められ、試合前日に厳しく計量され使用が許されます。

試合は、12辺四方のコートで行われ、定められた「部位」、面部(ズン)・小手部(コテ)・胸部(ドウ)・咽喉部(ツキ)・のど)・脛部(スネ)のところを、先端部の物打(ものうち)と呼ばれる、およそ15~20gの

「なぎなた」は、その歴史は古く、平安時代の末期の12世紀の半ばごろから、その機能性が太刀よりも離れた相手に向かうときに有利であるところから、それが「試合協議」と「演武競技」の総合で競われます。

「演武競技」は、「しきけ応じ技」と呼ばれる決められた技を2人1組の演技者によつて、スピード、発声、呼吸、気迫、服装態度など10項目にわたって優劣が競われ、試合競技との統合で順位を決めます。

現在は、愛弟子の伏見葉子さん(大谷、53歳)、熊谷和子さん(大谷、49歳)が中心となつて指導にあたっていますが、練習風景を見守る中野さんからは、小学生などにも出かけ指導を行つています。

市内では、12人の爱好者がいます。主婦が中心ですが毎週木曜日の午後、県立青少年会館で心身の向上を目的になぎなたを練習しています。

近隣の厚木市伊勢原市、愛川町などで一般のほか小学生などにも出かけ指導を行つています。

川県なぎなた連盟の事務局長を務める中野良子さん(中野、70歳)です。

持つています。

指揮は、神奈

川県なぎなた連

盟の事務局長を

務めます。

近隣の厚木

市伊勢原市、愛川町

などで一般のほか

小学生などにも出か

け指導を行つてい

ます。

現在は、愛弟子の伏

見葉子さん(大谷、53歳)

熊谷和子さん(大谷、49歳)

らが中心となつて指導にあ

たっていますが、練習風景

を見守る中野さんからは、

時折、足の運び方やなぎな

たの持ち方、姿勢などに厳

しい声もかかります。



「中段の構え」の中野さん。

この構えは、すべての構えの基本であり、動作を起こしたり、変化に応じるのに最も適した構えです。

見葉子さん(正面)と熊谷さん。

「学生時代、友達と何か部活

に参加しよう」と各部の見学に

いったところ、稽古着と袴姿

に変わっているところに関

ることを経験、体験して自分の

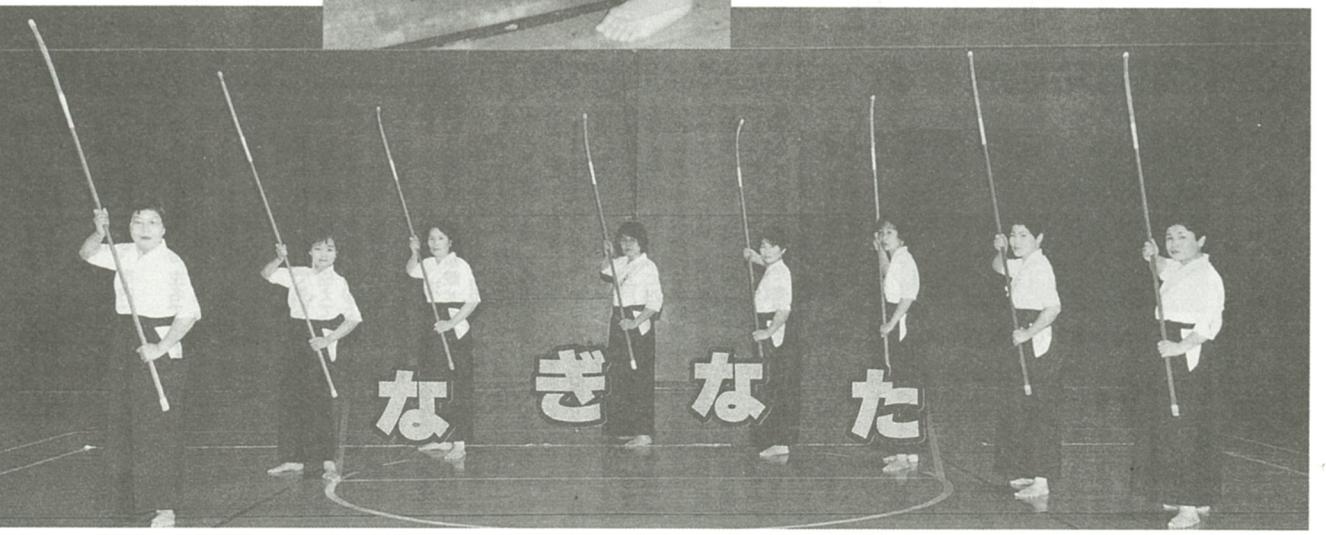
動きに参加しよう」と各部の見学にいったところ、稽古着と袴姿に変わっているところに関することを経験、体験して自分の

可能性をためす良いきっかけになつていて、違う世界を体験するのも自分育てる肥やしになると思う」と若い人に對しても呼びかけたいと伏見さんと熊谷さんは話してくれました。

なぎなたは、女子の格技スポーツとしての性格と内容をそな



心身を磨きます



恒例になっていたようですが、広報えびな「市長隨想」を視覚障害者の皆さんに、「声のたより」として録音、お届けするこ



声のたより

いきがい発見 公民館まつり

会場は中央公民館・文化会館

15日(土)・16日(日)



いきがい発見公民館まつりが3月15日(土)、16日(日)の2日間、中央公民館及び文化会館で開催されます。中央公民館を利用している各種団体の活動成果や楽しい催し物を家族でお楽しみください。(主催は市教育委員会・公民館まつり実行委員会)

13回目を迎えた公民館まつりは、公民館講座から生まれたグループなど公民館を学習の場と

している人たちの活動成果を発表するイベントとしてすっかり定着しています。

展示部門

書道、陶芸、絵画、彫刻、手

芸など、どの作品もこの1年間で

の活動の中から生まれた力作ぞ

る

子供たちでにぎわう会場(写真上)と人気の酒まんじゅうのコーナー(いずれも去年の公民館まつり)

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

</div

齊藤 愛ちゃん
さいとう あいちゃん

最近は台所やトイレまでママの後を追って、ますます甘えん坊さんになって困っています。

(大谷・齊藤卓也・由紀さんの長女)

榎原 雄貴くん
えのひら ゆうきくん

好き嫌いなく何でも食べて元気いっぱいの僕。大好きなお兄ちゃんと、公園でお砂遊びするのが一番の楽しみなんだ。(上今泉・榎原和雄・美津子さんの二男)

まんまる赤ちゃん

瀧谷 弘紀くん
たきや こうきくん

僕は車に乗るのが大好きハンドルを握らせたら僕にかなう者はないはず。将来はレーサーにでもなろうかな。(浜田町・瀧谷紀彦・真由美さんの長男)

杉崎 郁弥くん
すぎさき ふみやくん

こんにちは、ふみやです。あんよが上手になりました。いたずらが大好きな僕です。おかげで好きです?! (社家・杉崎英昭・牧子さんの二男)

1歳

1歳

☆このコーナーに赤ちゃんの掲載を希望する方は…

対象は応募時1歳未満の赤ちゃん。申し込みは電話で、秘書広報課
広報係(内272)へ。

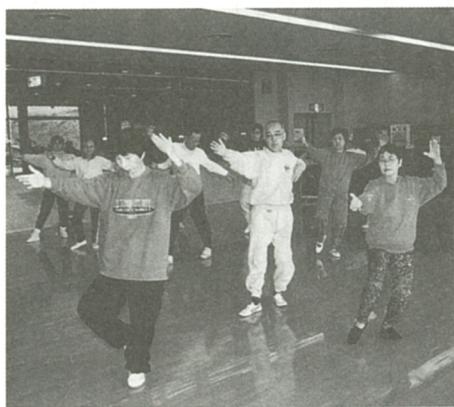
冬晴れの2月9日、運動公園陸上競技場で、神奈川県高等学校ラグビーフットボール大会新人戦の決勝戦が行われた。

若さあふれる熱戦

フォトピックス



▶市町村の代表が力走
2月9日、小田原から相模湖までの9区間、71・1kmを走る第51回市町村対抗「かながわ駅伝競走大会」が行われ、海老名市は34チーム中10位の成績だった。



2月1・8・15日の計3回、運動公園総合体育館多目的室で、太極拳の基本的な知識と技術を高め、体力の保持増進を目的に太極拳教室が開催された。

◀スポーツ教室 太極拳



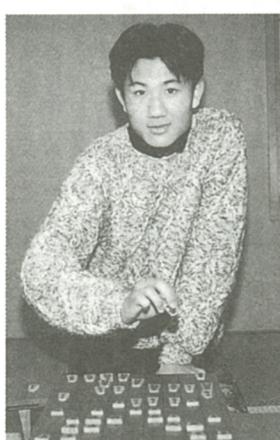
2月11日、市役所芝生広場で、ペットボトルを利用してロケットを作り打ち上げる「ロケット作り講習会」が親子約100人の参加で行われた。

△メンノドウ! : 冷たく寒い体育馆の硬い空気が響いてそろった大きな声が響く。一見、勇ましく見えるが、なぎなたを始めてから

編集後記

自然に座つて玄関で来客を迎えるといふ。客は、主人がなぎなたをしていると知つたらきっとピックリするだろう。(係の長)

今月のプロフィル



得意は「ひねり飛車

きっかけ。説わざるままに、自由対局に参加して手解きを受けた。「最初は、やってみようかなと思った」がその後、毎週土曜日に、そして、小学5年からは強くなるには勧められ、厚木の将棋道場に通うようになった。

将棋のほかにも、小学校時代にはラクビーで、中学校では陸上部の中距離選手として活躍。現在も高校陸上部に在籍するスポーツマン。

「将棋は、土・日曜日や夏休みなどに道場に通うほかは、本で勉強しています」という金井さんは、めきめき力をつけて、6年の夏にはアマチュア4段へ、現在は同5段の腕前になった。今後については「大学でも大会に出で自分の力をためたい。そして、将棋は弁護士を目指したい」という金井さん。今後の活躍を期待します。

将棋で全国大会ベスト16
金井孝太郎さん

「得意の“ひねり飛車”を持ち込めば後は攻める一方。自分で思いどおりに、いい手がさせて勝った時はうれしいです。決勝では、相手の矢倉になつて接戦の末、勝つことができました」と話すのは、去年12月23日に県内の高校生約200人が参加した県高等学校文化連盟将棋冬季個人の部で優勝し、高校芸術祭競技部門で県知事賞を受賞した金井孝太さん(上今泉・県立湘南高校2年)。過去の大会では、2回続けて同じ相手に決勝で敗れ、悔しい思いをした。

また、今年1月には、県代表として長野県伊那市で行われた全国大会に出場。予選を2勝敗で通過し、決勝では1勝して、ベスト16になった。「ベスト8をかけた対局では、自分の得意の形にできただけで負けてしまった。やはり全国のレベルは高かったです」と。

将棋との出会いは、小学3年生。中央公民館での公民館まつりに家族で訪れた時、将棋コーナーに立ち寄ったのが

2月11日、市役所芝生広場で、ペットボトルを利用してロケットを作り打ち上げる「ロケット作り講習会」が親子約100人の参加で行われた。

△ペットボトルを大空高く

